

2023年3月期 第2四半期決算補足資料
(2022年4月1日～2022年9月30日)

1. 2023.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'23.3期2Q 実績	'22.3期2Q 実績	前年同期比		'23.3期 通期予想 (11/8発表)	進捗率
			増減	増減率		
売上高	17,258	20,530	-3,272	-15.9%	33,500	51.5%
営業利益	2,610	6,038	-3,428	-56.8%	1,700	153.6%
経常利益	3,600	6,393	-2,793	-43.7%	2,900	124.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,141	5,019	-1,877	-37.4%	2,650	118.6%
研究開発費	3,407	3,802	-394	-10.4%	8,000	42.6%
研究開発費率(ロイヤリティー除く)	19.7%	22.4%	-2.7pt	-	23.9%	-
営業利益率	15.1%	29.4%	-14.3pt	-	5.1%	-
1株当たり四半期当期純利益(円)	56.32	89.07	-32.75	-	48.12	-
設備投資額	899	885	+14	1.7%	3,000	30.0%
減価償却費	610	474	+135	28.6%	1,300	47.0%
期中平均レート(US\$/円)	133.98	109.80	+24.18	-	※ 140.00	-

<前年同期との増減要因>

※第3Q以降前提

売上高: LAL事業の伸長があった一方、ロイヤリティーの大幅な減少や(-3,272)国内における薬価引き下げの影響により減収。

営業利益: 米国で実施中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603追加臨床試験の被験者組み入れが(-3,428)完了したことに伴い研究開発費が減少したが、減収の影響により減益。

四半期純利益: 前年同期に利益が高水準だったことから法人税が減少したが、減収の影響により減益。(-1,877)

2. 2023.3期 業績予想

(百万円)

	'23.3期 通期予想 (11/8発表)	'22.3期 実績	前期比	
			増減	増減率
売上高	33,500	34,851	-1,351	-3.9%
営業利益	1,700	4,495	-2,795	-62.2%
経常利益	2,900	5,395	-2,495	-46.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,650	3,733	-1,083	-29.0%
研究開発費	8,000	9,005	-1,005	-11.2%
研究開発費率(ロイヤリティー除く)	23.9%	29.2%	-5.3pt	-
営業利益率	5.1%	12.9%	-7.8pt	-
1株当たり当期純利益(円)	48.12	66.32	-18.20	-
設備投資額	3,000	2,194	+805	36.7%
減価償却費	1,300	1,051	+248	23.6%
期中平均レート(US\$/円)	※ 140.00	112.38	+27.62	-

※第3Q以降前提

<'23.3期の見通し>

売上高: 国内医薬品の数量増加や海外製品の円安効果を見込む一方で、(-1,351)ロイヤリティーの大幅な減少や国内における薬価引き下げの影響を大きく受け、減収。

営業利益: 研究開発費の減少を見込むが、為替換算を含む海外子会社の費用の増加に加え、(-2,795)減収の影響により、減益。

当期純利益: 減収に伴い、減益。(-1,083)

3. セグメント別売上高

①2023.3期 第2四半期実績

	'23.3期2Q 実績	'22.3期2Q 実績	前年同期比		'23.3期 予想 (11/8発表)	進捗率
			増減	増減率		
【医薬品事業】	11,692	16,136	-4,444	-27.5%	22,500	52.0%
国内医薬品	5,808	6,805	-997	-14.7%	10,850	53.5%
海外医薬品	4,384	4,449	-65	-1.5%	8,650	50.7%
医薬品原体・医薬品受託製造	1,497	1,330	+167	+12.6%	3,000	49.9%
ロイヤリティ	1	3,550	-3,548	-100.0%	1	100.0%
【LAL事業】	5,566	4,394	+1,171	+26.7%	11,000	50.6%
合計	17,258	20,530	-3,272	-15.9%	33,500	51.5%
(海外売上高)	10,353	9,135	+1,218	+13.3%	20,650	50.1%

<主要製品の販売状況>

- ・国内アルツ: 関節機能改善剤市場は回復傾向。競合品からの切り替え施策の奏功により医療機関納入本数は増加。当社売上高は薬価引き下げの影響により、減少。
(前年同期比 市場+1.1%、アルツ医療機関納入本数 +3.4%、アルツ市場シェア +1.4pt)
- ・オベガン類: 新型コロナウイルス感染症拡大以前の市場の成長基調が戻りつつあり、医療機関納入本数は増加。当社売上高は販売提携先の在庫調整に加え、薬価引き下げの影響により、減少。
(前年同期比 市場+12.5%、オベガン類医療機関納入本数 +11.5%、オベガン市場シェア -0.3pt)
- ・ヘルニコア: 医療機関納入本数は前年同期並み。当社売上高は出荷時期の影響により、増加。
- ・米国ジェム・ワン: 価格公開に関する制度変更が行われた影響により、現地販売本数は減少。当社売上高は円安効果により、大幅に増加。
(前年同期比 現地販売数量 約-15%)
- ・米国スパルツFX: 少数回投与製品が選好される傾向が継続しているが、現地販売本数は前年同期並み。当社売上高は出荷タイミングにより、減少。
- ・中国アルツ: 新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う主要都市でのロックダウンが継続して発生していることから、現地販売本数は大幅に減少。当社売上高は包装資材の変更に伴い第1四半期の出荷が無かったことから、減少。
- ・LAL事業: 海外子会社のアソシエーツ オブ ケープ コッド インクの伸長に加え、国内販売の堅調な推移により増加。

②2023.3期 通期業績予想

(百万円)

	'23.3期 通期予想 (11/8発表)	'22.3期 実績	前期比	
			増減	増減率
【医薬品事業】	22,500	25,696	-3,196	-12.4%
国内医薬品	10,850	11,447	-597	-5.2%
海外医薬品	8,650	7,652	+997	+13.0%
医薬品原体・医薬品受託製造	3,000	2,607	+392	+15.1%
ロイヤリティ	1	3,989	-3,988	-100.0%
【LAL事業】	11,000	9,155	+1,844	+20.2%
合計	33,500	34,851	-1,351	-3.9%
(海外売上高)	20,650	17,918	+2,731	+15.2%